

百人一首 せんむすびワークシート (1)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】秋の田の かりほの庵の 苛をあらみ

【1】わが衣手は 露にぬれつつ

答え[]

【B】花の色は うつりにけりな
いたづらに

【2】衣ほすてふ 天の香具山

答え[]

【C】かささぎの 渡せる橋におく霜の

【3】ながながし夜を ひとりかも寝む

答え[]

【D】天の原 ふりさけ見れば 春日なる

【4】富士の高嶺に 雪は降りつつ

答え[]

【E】わが庵は 都のたつみ しかぞすむ

【5】声きく時ぞ 秋は悲しき

答え[]

【F】奥山に 紅葉踏みわけ 鳴く鹿の

【6】白きを見れば 夜ぞふけにける

答え[]

【G】田子の浦に うち出でて見れば
白妙の

【7】三笠の山に出でし月かも

答え[]

【H】あしひきの 山鳥の尾の しだり尾の

【8】世をうち山と 人はいふなり

答え[]

【I】これやこの 行くも帰るも 別れては

【9】わが身世にふる ながめせしまに

答え[]

【J】春すぎて 夏来にけらし 白妙の

【10】知るも知らぬも 逢坂の関

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (2)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】住の江の 岸に寄る波 よるさへや

【1】人には告げよ あまの釣舟

答え[]

【B】陸奥の しのぶもちずり 誰ゆゑに

【2】をとめの姿 しばしとどめむ

答え[]

【C】筑波嶺の 峰より落つる みなの川

【3】恋ぞつもりて 淀となりぬる

答え[]

【D】難波潟 短き芦の ふしの間も

【4】乱れそめにし われならなくに

答え[]

【E】天つ風 雲の通ひ路 吹きとぢよ

【5】わが衣手に 雪は降りつつ

答え[]

【F】わたの原 八十島かけて
漕ぎ出でぬと

【6】まつとし聞かば 今帰り来む

答え[]

【G】君がため 春の野に出でて 若菜つむ

【7】からくれなゐに 水くくるとは

答え[]

【H】立ち別れいなばの山の 峰に生ふる

【8】夢の通ひ路 人目よくらむ

答え[]

【I】わびぬれば 今はた同じ 難波なる

【9】逢はでこの世を 過ぐしてよとや

答え[]

【J】ちはやぶる 神代もきかず 竜田川

【10】みをつくしても 逢はむとぞ思ふ

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (3)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】小倉山 峰の紅葉葉 心あらば

【1】有明の月を 待ち出でつるかな

答え[]

【B】今来むといひしばかりに 長月の

【2】むべ山風を 嵐といふらむ

答え[]

【C】月見れば 千々にものこそ 悲しけれ

【3】わが身一つの 秋にはあらねど

答え[]

【D】このたびは 幣も取りあへず 手向山

【4】紅葉の錦 神のまにまに

答え[]

【E】有明の つれなく見えし 別れより

【5】人に知られて くるよしもがな

答え[]

【F】吹くからに 秋の草木の しをるれば

【6】今ひとたびの みゆき待たなむ

答え[]

【G】名にし負はば 逢坂山の さねかづら

【7】いつ見きとてか 恋しかるらむ

答え[]

【H】心あてに 折らばや折らむ 初霜の

【8】人目も草も かれぬと思へば

答え[]

【I】みかの原 わきて流るる いづみ川

【9】置きまどはせる 白菊の花

答え[]

【J】山里は 冬ぞさびしさ まさりける

【10】暁ばかり 憂きものはなし

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (4)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】人はいさ 心も知らず ふるさとは

【1】吉野の里に 降れる白雪

答え[]

【B】山川に 風のかけたる しがらみは

【2】流れもあへぬ 紅葉なりけり

答え[]

【C】夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを

【3】しづ心なく 花の散るらむ

答え[]

【D】朝ばらけ 有明の月と 見るまでに

【4】松も昔の 友ならなくに

答え[]

【E】しのぶれど 色に出でにけり
わが恋は

【5】花ぞ昔の 香ににほひける

答え[]

【F】浅茅生の 小野の篠原 しのぶれど

【6】雲のいづこに 月宿るらむ

答え[]

【G】誰をかも 知る人にせむ 高砂の

【7】つらぬきとめぬ 玉ぞ散りける

答え[]

【H】忘らるる 身をば思はず 誓ひてし

【8】人の命の 惜しくもあるかな

答え[]

【I】白露に 風の吹きしく 秋の野は

【9】あまりてなどか 人の恋しき

答え[]

【J】ひさかたの 光のどけき 春の日に

【10】ものや思ふと 人の問ふまで

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (5)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】風をいたみ 岩うつ波の おのれのみ

【1】人知れずこそ 思ひそめしか

答え[]

【B】契りきな かたみに袖を しづりつつ

【2】末の松山 波越さじとは

答え[]

【C】逢ひ見ての のちの心に くらぶれば

【3】昔はものを 思はざりけり

答え[]

【D】由良の門を 渡る舟人 かぢを絶え

【4】人をも身をも 恨みざらまし

答え[]

【E】君がため 惜しからざりし 命さへ

【5】身のいたづらになりぬべきかな

答え[]

【F】あはれとも いふべき人は 思ほえで

【6】ゆくへも知らぬ 恋の道かな

答え[]

【G】八重むぐら しげれる宿の
さびしきに

【7】人こそ見えね 秋は来にけり

答え[]

【H】逢ふことの 絶えてしなくは
なかなかに

【8】くだけてものを 思ふころかな

答え[]

【I】御垣守 衛士のたく火の 夜は燃え

【9】昼は消えつつ ものをこそ思へ

答え[]

【J】恋すてふ わが名はまだき 立ちにけり

【10】長くもがなと 思ひけるかな

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (6)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】忘れじの 行末までは かたければ

【1】さしも知らじな 燃ゆる思ひを

答え[]

【B】滝の音は 絶えて久しくなりぬれど

【2】なほ恨めしき 朝ぼらけかな

答え[]

【C】有馬山 猪名の笠原 風吹けば

【3】いかに久しき ものとかは知る

答え[]

【D】明けぬれば 暮るるものとは
知りながら

【4】今日を限りの 命ともがな

答え[]

【E】めぐりあひて 見しやそれとも
分かぬ間に

【5】名こそ流れて なほ聞こえけれ

答え[]

【F】かくとだに えやはいぶきの
さしも草

【6】今ひとたびの 逢ふこともがな

答え[]

【G】やすらはで 寝なましものを
さ夜ふけて

【7】雲隠れにし 夜半の月かな

答え[]

【H】大江山 いく野の道の 遠ければ

【8】いでそよ人を 忘れやはする

答え[]

【I】嘆きつつ ひとり寝る夜の 明くる間は

【9】かたぶくまでの 月を見しかな

答え[]

【J】あらざらむ この世のほかの 思ひ出に

【10】まだふみもみず 天の橋立

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート(7)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】朝ぼらけ 宇治の川霧 たえだえに

【1】けふ九重に にほひぬるかな

答え[]

【B】さびしさに 宿を立ち出でて
ながむれば

【2】よに逢坂の 関はゆるさじ

答え[]

【C】もろともに あはれと思へ 山桜

【3】人づてならで 言ふよしもがな

答え[]

【D】今はただ 思ひ絶えなむ とばかりを

【4】あらはれわたる 瀬々の網代木

答え[]

【E】夜をこめて 鳥のそらねは
はかるとも

【5】恋に朽ちなむ 名こそ惜しけれ

答え[]

【F】春の夜の 夢ばかりなる 手枕に

【6】花よりほかに 知る人もなし

答え[]

【G】嵐吹く 三室の山の もみぢ葉は

【7】かひなく立たむ 名こそ惜しけれ

答え[]

【H】いにしへの 奈良の都の 八重桜

【8】恋しかるべき 夜半の月かな

答え[]

【I】恨みわび ほさぬ袖だに あるものを

【9】竜田の川の 錦なりけり

答え[]

【J】心にも あらでうき世に ながらへば

【10】いづくも同じ 秋の夕暮れ

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (8)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】音にきく たかしの浜の あだ波は

【1】芦のまろやに 秋風ぞ吹く

答え[]

【B】瀬を早み 岩にせかるる 滝川の

【2】かけじや袖の ぬれもこそすれ

答え[]

【C】秋風に たなびく雲の 絶え間より

【3】外山の霞 立たずもあらなむ

答え[]

【D】高砂の 尾の上の桜 咲きにけり

【4】はげしかれとは 祈らぬものを

答え[]

【E】長からむ 心も知らず 黒髪の

【5】あはれ今年の 秋もいぬめり

答え[]

【F】わたの原 潟ぎ出でて見れば 久方の

【6】雲居にまがふ 沖つ白波

答え[]

【G】憂かりける 人を初瀬の 山おろしよ

【7】われても末に 逢はむとぞ思ふ

答え[]

【H】淡路島 かよふ千鳥の 鳴く声に

【8】幾夜寝覚めぬ 須磨の関守

答え[]

【I】契りおきし させもが露を 命にて

【9】もれ出づる月の 影のさやけさ

答え[]

【J】夕されば 門田の稻葉 おとづれて

【10】乱れて今朝は ものをこそ思へ

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (9)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】見せばやな 雄島のあまの 袖だにも

【1】ただ有明の 月ぞ残れる

答え[]

【B】世の中よ 道こそなけれ 思ひ入る

【2】憂きにたへぬは 涙なりけり

答え[]

【C】夜もすがら もの思ふころは
明けやらで

【3】山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる

答え[]

【D】ながらへば またこのごろや
しのばれむ

【4】憂しと見し世ぞ 今は恋しき

答え[]

【E】難波江の 芦のかりねの ひとよゆゑ

【5】闇のひまさへ つれなかりけり

答え[]

【F】村雨の 露もまだひぬ まきの葉に

【6】かこち顔なる わが涙かな

答え[]

【G】嘆けとて 月やはものを 思はする

【7】霧立ちのぼる 秋の夕暮れ

答え[]

【H】ほととぎす 鳴きつる方を
ながむれば

【8】みをつくしてや 恋ひわたるべき

答え[]

【I】思ひわびさても命はあるものを

【9】忍ぶことの 弱りもぞする

答え[]

【J】玉の緒よ 絶えなば絶えね ながらへば

【10】濡れにぞ濡れし 色は変わらじ

答え[]

百人一首 せんむすびワークシート (10)

上のくと下のくを線でむすびましょう

【A】人もをし 人も恨めし あぢきなく

【1】衣かたしき ひとりかも寝む

答え[]

【B】世の中は 常にもがもな 渚こぐ

【2】人こそ知らね 乾く間もなし

答え[]

【C】わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の

【3】あまの小舟の 綱手かなしも

答え[]

【D】おほけなく うき世の民に
おほふかな

【4】ふるさと寒く 衣打つなり

答え[]

【E】花さそふ 嵐の庭の 雪ならで

【5】わがたつそまに 墨染の袖

答え[]

【F】風そよぐ なら的小川の 夕暮れは

【6】ふりゆくものは わが身なりけり

答え[]

【G】百敷や 古き軒端の しのぶにも

【7】焼くや藻塩の 身もこがれつつ

答え[]

【H】来ぬ人を まつほの浦の 夕なぎに

【8】みそぎぞ夏の しるしなりける

答え[]

【I】み吉野の 山の秋風 さ夜ふけて

【9】世を思ふゆゑに もの思ふ身は

答え[]

【J】きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしろに

【10】なほあまりある 昔なりけり

答え[]